



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月7日

上場会社名 日本ピラー工業株式会社
 コード番号 6490 URL <http://www.pillar.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩波 清久
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 村井 一久
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-7166-8248

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	6,931	14.2	845	46.4	872	47.5	570	52.6
2019年3月期第1四半期	8,080	18.5	1,576	31.6	1,661	36.3	1,202	43.2

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 580百万円 (43.2%) 2019年3月期第1四半期 1,022百万円 (9.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	23.32	
2019年3月期第1四半期	49.20	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	52,539	42,138	80.2
2019年3月期	52,972	42,169	79.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 42,138百万円 2019年3月期 42,169百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		20.00		25.00	45.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		20.00		20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,500	4.7	3,400	33.7	3,400	35.0	2,500	32.8	102.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	25,042,406 株	2019年3月期	25,042,406 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	595,161 株	2019年3月期	595,161 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	24,447,245 株	2019年3月期1Q	24,447,463 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、雇用・所得環境は改善が続いたものの、生産活動や輸出が弱含みとなり、景況感も悪化しております。また、世界経済も米中の貿易摩擦による影響や地政学的リスクなどの懸念があり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境の中、産業機器関連事業では、国内向けが低調で厳しい状況が続きましたが、海外案件での補修品の取り込み等により、売上高は前年同期比増加いたしました。また、電子機器関連事業においては、半導体市況の低迷により受注が減少し、売上高は前年同期比大きく減少いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高69億31百万円（前年同期比14.2%減）、営業利益8億45百万円（前年同期比46.4%減）、経常利益8億72百万円（前年同期比47.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益5億70百万円（前年同期比52.6%減）となりました。

連結売上高をセグメント別に見ますと、産業機器関連事業は26億71百万円（前年同期比6.4%増）、電子機器関連事業は42億36百万円（前年同期比23.6%減）、その他部門（不動産賃貸等）は23百万円（前年同期比2.4%増）となりました。

また、営業利益のセグメント別につきましては、産業機器関連事業は4億18百万円（前年同期比52.8%増）、電子機器関連事業は4億17百万円（前年同期比67.5%減）、その他部門（不動産賃貸等）は11百万円（前年同期比10.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、電子記録債権の減少等により前期末比4億33百万円減の525億39百万円となりました。また、有利子負債（リース債務は除く）は、前期末比59百万円減の10億22百万円となりました。純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び配当金の支払い等により前期末比30百万円減の421億38百万円となり、自己資本比率は80.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は、現時点において決算発表時（2019年5月9日）に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,912	12,702
受取手形及び売掛金	7,423	7,530
電子記録債権	4,603	4,110
商品及び製品	1,055	1,132
仕掛品	1,360	1,612
原材料及び貯蔵品	648	788
その他	374	265
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	28,375	28,138
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,817	12,725
機械装置及び運搬具(純額)	2,000	2,074
土地	4,800	4,796
その他(純額)	648	664
有形固定資産合計	20,266	20,259
無形固定資産	173	176
投資その他の資産		
投資有価証券	3,477	3,456
退職給付に係る資産	81	84
その他	616	442
貸倒引当金	△18	△18
投資その他の資産合計	4,156	3,964
固定資産合計	24,597	24,400
資産合計	52,972	52,539
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,985	3,299
短期借入金	200	250
1年内返済予定の長期借入金	439	439
未払金	2,889	2,760
未払法人税等	729	86
賞与引当金	771	406
資産除去債務	98	98
その他	494	919
流動負債合計	8,608	8,259
固定負債		
長期借入金	443	333
退職給付に係る負債	1,467	1,478
資産除去債務	58	58
その他	225	270
固定負債合計	2,194	2,140
負債合計	10,802	10,400

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,966	4,966
資本剰余金	5,190	5,190
利益剰余金	30,897	30,856
自己株式	△466	△466
株主資本合計	40,587	40,547
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,350	1,336
為替換算調整勘定	224	251
退職給付に係る調整累計額	6	4
その他の包括利益累計額合計	1,581	1,591
純資産合計	42,169	42,138
負債純資産合計	52,972	52,539

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	8,080	6,931
売上原価	5,089	4,752
売上総利益	2,990	2,178
販売費及び一般管理費	1,413	1,333
営業利益	1,576	845
営業外収益		
受取配当金	43	42
為替差益	32	—
その他	10	10
営業外収益合計	86	53
営業外費用		
支払利息	1	1
為替差損	—	15
固定資産処分損	—	8
その他	0	1
営業外費用合計	2	26
経常利益	1,661	872
特別利益		
固定資産売却益	178	—
特別利益合計	178	—
特別損失		
減損損失	59	7
固定資産売却損	4	—
工場建替関連費用	16	—
特別損失合計	80	7
税金等調整前四半期純利益	1,760	865
法人税、住民税及び事業税	326	102
法人税等調整額	230	192
法人税等合計	557	294
四半期純利益	1,202	570
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,202	570

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	1,202	570
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△99	△14
為替換算調整勘定	△82	26
退職給付に係る調整額	1	△1
その他の包括利益合計	△180	10
四半期包括利益	1,022	580
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,022	580

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業機器 関連	電子機器 関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,511	5,546	8,057	22	8,080	—	8,080
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	765	992	1,758	4	1,762	△1,762	—
計	3,276	6,539	9,816	26	9,843	△1,762	8,080
セグメント利益	274	1,287	1,561	10	1,571	5	1,576

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額5百万円は、セグメント間取引消去0百万円及び棚卸資産の調整額4百万円であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において、遊休資産に区分される土地の減損損失を特別損失として計上しております。なお、減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては59百万円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業機器 関連	電子機器 関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,671	4,236	6,908	23	6,931	—	6,931
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	817	796	1,614	4	1,618	△1,618	—
計	3,489	5,033	8,522	27	8,549	△1,618	6,931
セグメント利益	418	417	836	11	848	△2	845

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△2百万円は、セグメント間取引消去0百万円及び棚卸資産の調整額△2百万円であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において、遊休資産に区分される土地の減損損失を特別損失として計上しております。なお、減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては7百万円であります。